

つながりをチカラに

S **A** **I**

String
つなぎあわせる

Approach
近づく

Information
情報

1月17日は
ボクの誕生日です!



埼玉県社協マスコット
「シャキたまくん」



埼玉県社会福祉協議会フォトコンテスト 入賞作品 「昼のランデブー」 高野 君夫さん(熊谷市) 撮影場所：川島町



新春特別巻頭インタビュー

金融の枠を超えて、
さまざまな社会貢献事業に挑戦
～大切なのは、誠実なる思いやりと人との絆づくり～
埼玉りそな銀行
福岡 聡 代表取締役社長

年頭のごあいさつ

埼玉県社会福祉協議会 山口 宏樹会長
埼玉県 大野 元裕知事

今月のキラリ

こども食堂とフードパントリーをネットワーク化して運営を安定化
加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリーネットワーク

シャキッと埼玉社協

石川県内災害ボランティアセンターへ職員を派遣 他

年頭のごあいさつ

埼玉県知事 大野元裕



明けましておめでとうございます。皆様には健やかに令和7年の新春を迎えることと喜び申し上げます。また、地域福祉を支えていただいている皆様の御尽力に対し、深く敬意を表する次第です。

「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害など、危機への対応」という時代の転換点における2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、中長期的な観点に立った施策を確実

年頭のごあいさつ

社会福祉法人
埼玉県社会福祉協議会

会長 山口宏樹



明けましておめでとうございます。昨年中は、地域福祉の推進に多大なるご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は令和6年能登半島地震に始まり、初の南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、改めて日本が災害大国であることを認識した1年でした。

能登半島地震では、市町村社協職員とともに本会職員も輪島市、穴水町などの現地に赴き、災害ボランティアセンター運営の支援にあたりました。また、福祉施設職員を現地の1.5次避難所に派遣するなど、復興支援にも力をいれてまいりました。9月には豪雨災害も重なった被災地ですが、住民の皆様の生活が1日も早

持続可能で活力ある埼玉を次世代につなぐ

明けましておめでとうございます。皆様には健やかに令和7年の新春を迎えることと喜び申し上げます。また、地域福祉を支えていただいている皆様の御尽力に対し、深く敬意を表する次第です。

「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害など、危機への対応」という時代の転換点における2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、中長期的な観点に立った施策を確実

く平穏に復することを心よりお祈り申し上げます。

一方で、長期に渡るコロナ禍を経て、人と人とのつながりが希薄化し、社会的孤立は一層深刻さを増した1年でもありました。また、昨今の物価高騰は我々の生活に大きな影響を与えています。

こうした中、本会ではこども食堂・未来応援基金を活用し、夏休み・冬休み期間中のこどもの食の確保と居場所の提供といった活動を支援するため、レトルト食品やパックご飯を配布しました。県民の皆様をはじめ企業や団体など、多くの方からの温かいご寄付とご協力に、心より感謝いたします。また、「こどもの居場所現場体験プログラム」を新たに開始し、

さらに、DXの第2段階としてデジタ

こどもの居場所の立ち上げや既存の居場所の活性化に取り組んでまいりました。本年も、4月からの新たな中期ビジョンの下、継続という時のつながりを力に、福祉人材の確保と育成、高齢者や障害者の権利擁護、社会福祉法人の公益的取り組みの促進など、創意工夫しながら取り組んでまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことを心から祈念するとともに、皆様とのつながりを大切に、それら力として、地域福祉活動の活性化に努めてまいります。

引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

金融の枠を超えて、

さまざまに社会貢献事業に挑戦

大切なのは、誠実なる思いやりと

人との絆づくり

埼玉りそな銀行は、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指し、こどもの居場所づくりなどの子育て支援をはじめとする、さまざまな社会貢献の取り組みを進めています。今月は福岡聡社長に、その根底にある理念や、取り組みに対する思いを本会の金子副会長が伺いました。

金子 福岡社長は加須市(旧・騎西町)のご出身で、当時の埼玉銀行に就職されたと聞いています。

福岡 我が家は先祖代々、埼玉に根を張ってきた歴史があり、私も地元の幼稚園、小中学校、高校に通いました。川が流れ、田んぼが広がる自然豊かな環境の中で、小さい頃は毎日暗くなるまで、外で遊んだものです。勉強が嫌いで、いたずらばかりしていたので、親にはよく叱られました。

大学は都内でしたが、卒業すると埼玉銀行に就職。やはり自分を育ててくれた埼玉に特別な愛情

を抱いていて、恩返しをしたいという思いがありました。

その後、埼玉銀行は合併を繰り返す中で、りそな銀行となり、埼玉県の事業は埼玉りそな銀行に継承されました。2003年には、りそなショック(自己資本比率の大幅低下により約1兆9600億円の公的資金が注入された)が起きるといふ流れのなかで、私は肉体的にも精神的にもつらい時代を長く過ごしました。それを耐え抜くことができたのは、「自分は埼玉の役に立つ」という信念のようなものがあつたからだと感じています。

埼玉りそな銀行代表取締役社長

ふくおか さとし
福岡 聡 さん

1965年4月3日生まれ。埼玉県出身。89年早稲田大学政治経済学部卒業後、埼玉銀行入行。2004年企画部長。08年鶴ヶ島支店長。10年経営管理部グループリーダー。13年営業サポート統括部長。15年りそなホールディングス財務部長。18年りそなホールディングス取締役兼代表執行役財務部担当を経て、20年4月から現職。



金子 過酷な時代を乗り越え、2020年に社長に就任されました。「日本一暮らしやすい埼玉」の実現や「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」を目指している考えをお聞かせください。

福岡 我々は地域金融ですので、地域社会の発展がなければ我々の発展はありません。この考え方の根底には、創業の礎のひとりでもある洪沢栄一翁の「道德経済合一（※1）」という言葉があります。

複雑化してきた今の時代は、たくさんの方がつながり、協力しあうことで、未来を展望していくときだと思っています。そのためには金融という枠だけを見ては、社会の発展には貢献できず、地域の皆さまの暮らし全般を見ていく必要があります。

金子 道德経済合一は、御行がとても大切にされている言葉です。この理念について、どのように進められてきたのでしょうか。

福岡 まず社会に対する誠実な思いやりを持つことを大切にしています。洪沢栄一翁の言葉でいうと「忠恕（※2）」ですね。そのうえで、「利他（※3）」の精神をもつことです。社会貢献があつて次に我々の成長があるのですが、この優先順位を間違ふと利己的な方向に行つてしまいます。道德経済合一を社内を進めるため、この忠恕と利他についてよく話をします。

誠実な思いやりの実践について、私は「広く・

深く・長く」というキーワードをよく使います。これは社会全体に対して「広く」、困りごとに対して「深く」、未来に向けて「長く」ということで、思いやりの範囲を広げることが大事だと思つているためです。

「広く・深く・長く」が形になった取り組みとして、2021年に当行が設立した株式会社地域デザインラボさいたま（ラボたま）が挙げられます。日本一暮らしやすい埼玉の実現のために、地域課題の解決事業を営む、まちづくり支援の会社です。これまでの銀行業務を超えた領域まで踏み込んで、行政や大学等との産学連携のハブ機能を發揮し、お客さまや地域に「広く・深く・長く」伴走支援をしていきます。

金子 洪沢栄一翁は、新紙幣の一万円札の肖像に選ばれ、大きな話題になりました。

福岡 それ以前にはNHK大河ドラマ「青天を衝け」で洪沢栄一翁の一生が描かれるなど、埼玉県が注目される良い機会になりました。県民のシビックプライド（地域への誇りと愛着）が向上し、新たなことに挑戦しようというマインドにつながるのではという期待も膨らみました。そこで当行は、新札の発行日に全店で両替を実施しました。全店両替は全国で2つの銀行だけで、実はさまざまな苦労があったのですが、実施してよかったと思つています。

洪沢栄一翁は当行の前身のひとつである黒須銀行の設立時の顧問を務めていましたが、この銀行は庶民の貯蓄を資本とし、学校には有利な利子を

つけ、利益のなかから寄付を行うなどしたことから道德銀行と呼ばれるようになりました。そこで洪沢栄一翁から道德銀行の書が贈られ、その書は、当行の応接室に今も飾られています。

洪沢栄一翁 は、混沌とした時代を生き、次の時代の成長をつくった方ですが、その原動力は、思いやりや道德、あるいは挑戦でした。我々もこういったキーワードを体現していくことで日本一暮らしやすい埼玉を実現していきたいと思つています。

金子 その中で御行は未来を担うこともたちの支援にも尽力されていて、銀行支店でのフードドライブや、こども支援拠点「りそな YOUTH BASE」の開設など、これまでの銀行にはなかった革新的な取り組みをされています。その原動力は何だと思えますか。



オープンセレモニーの様子



埼玉りそな銀行本社に飾られた渋沢栄一翁の書の前で
福岡聡社長（左）と金子直史本会副会長（右）

福岡 我々は、「金融+で、未来をプラスに。」をパーパス（企業の社会的な存在意義）として掲げる中期経営計画を公表しました。そこで、社内での「我々の持っている、人財を含めた金融資源をどのように生かすと、未来をプラスにできるだろうか」という問いかけを行なっています。

そんな中、加須支店・騎西支店が2020年にフードドライブを開催したことをきっかけに、いまでは全店規模に広がりを見せています。社員がこどもの貧困を地域課題として認識し、自主的に取り組んでいます。

こども支援拠点「りそな YOUTH BASE」に

ついては、2022年に越谷市にあるせんげん台支店3階に開設し、24年にはさいたま市の本店に隣接する旧社内保育所に開設しました。地元のごども支援団体に無償で貸し出し、学習支援やイベントなどに利用されています。

空間のもつ力は大きいと考えていますが、銀行は経営資源のひとつである店舗などをもっていません。そこで「もっと社会のために役立てたい」という社員の提案でこどもの居場所が生み出されました。

金子 社員の皆さんが自主的に地域課題に取り組む職場風土は、どのように醸成されたのでしょうか。

福岡 りそなショックを経験した後、風通しの良さ、透明性といったキーワードが組織に植え付けられました。私の代になってさらに、コミュニケーションの重要性を打ち出しました。上司と部下が定期的に面談する、1on1（ワンオンワン）ミーティングを社内で行ったり、上司と部下だけでなく、斜めや横の関係づくりの機会も設けられています。

また積極的に社外に出て、NPO団体で学んだり、行政や大学、民間企業とつながって活動したりしています。「越境」というキーワードで、いろいろな人とつながることで、自分自身を見つめなおしたり、社会の課題を別の角度から捉えなおしたりすることができるようになったと思えます。人財育成とコミュニケーションの仕組みを変えたことが、よい結果につながりました。

金子 最後に今後の展望や抱負について教えてください。

福岡 現代は人口減少も進んで、難しい社会課題を数多く抱えています。我々はさまざまな方々と力を合わせて、できることは何でも取り組んでいきたいと考えています。今、足元では、例えば障害者の方の働き方を多様化する取り組みや、若者に向けて金融犯罪防止も含めた金融経済教育の取り組みも始まっています。人とのつながりの中には、これからの可能性を広げる大きな力が眠っています。

大切なことは思いやりを通して人との絆をつくること。そして挑戦をしていくこと。この二つをもって、社会課題を一つ一つ解決していくと、日本一暮らしやすい埼玉の実現に役立つと実感しています。

金子 福岡社長の地域愛を強く感じました。この思いが職員に浸透し、自主性を重んじる雰囲気づくりとコミュニケーションの仕組みの工夫などが相まって先進的な取り組みにつながっていると理解できました。お忙しいところありがとうございます。

- ※1 道徳経済合一 事業を進めていくうえで、常に社会貢献や多くの人の幸せといった公益を追求しながら、同時に利益を上げていくこと。
- ※2 忠恕 自分の良心に忠実であることと、他人に対する思いやりが深いこと。
- ※3 利他 他人に利益となるように図ること。自分のことよりも他人の幸福を願うこと。

今月のキラリ

さまざまな団体の
キラリとした活動を紹介

こども食堂とフードパントリーを ネットワーク化して運営を安定化

加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会

こども食堂の団体とフードパントリーの団体のネットワーク化を図る「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」が発足しました。先進的な「加須モデル」が立ち上がった経緯や、連携の成果などを紹介します。

加須市は「日本一こどもを産み育てやすいまち」を目指して、子育て支援に重点を置いたさまざまな取り組みを進



取材に協力いただいた「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」の皆さん。写真左から戸恒和夫さん、宮坂照美さん、嶋田善市さん(会長)、杉沢正子さん、猪股富美子さん。

めています。平成28年にこども食堂として「すくすく広場」が活動を開始。その2年後にフードパントリーの「こども食堂応援隊」が立ち上がり、現在こども食堂7団体、フードパントリー6団体が事業を展開しています。ところが団体が増える中で、運営資金の確保や食材の調達が困難なケースが出てきたのです。そこで関係団体の皆さんは、ふるさと納税制度において、子育て支援に関する事業の項目を設けるように市に対して要望し、こども食堂とフードパントリーの運営費に活用できるようにしました。

このような市との交渉を進める中、こども食堂とフードパントリーの団体同士を横につないでネットワーク化することが決まり、令和5年5月「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」(以下、団体連絡会)が発足しました。「各団体が連携・協力することで、安定した財源確保による運営の持続化や、食品の受け入れ、集荷、分配を共同で行うことによる支援の効率化などを目指しました」と、団体連絡会の会長、嶋田善市さんは話します。

市から団体連絡会に対して、共同倉庫や会場使用料、燃料費などの経費の一部として年間230万円が補助されることになりました。

団体連絡会には拠点が必要で、そこで以前、福島県双葉町からの避難者の方々が利用していた二階建ての空き家を、県の助成を受けてリニューアルし、こども支援事業の拠点として借り受け、令和6年3月、「加須こどもまんなか広場」こ・こ・か・ら」としてオープンしました。調理室も完備され、こども食堂、フードパントリー、学習支援などに活用しています。夏休みにはこどもたちに向けた、餃子づくりなどのワークショップを開催。文字通りこどもをまんなかにした居場所として活用されています。

新たな拠点を開設してこどもまんなかの居場所!



加須こどもまんなか広場で開催されたこども食堂「キッチンわーぐる」。こどもたちは食事を楽しむだけでなく、配膳や食器洗いなども手伝いました。

ノウハウを伝授したそうです。また、こども食堂などで手が不足したとき、お互いに助け合えるようになったこともメリットのひとつです。さらに団体連絡会として研修会を開催して、知識を高められています。情報発信力も高まりました。

県内のこども食堂やフードパントリーの団体も増加している中、団体が主体的にネットワークを運営し、それを地元自治体が全面的にサポートする、地域のこども・子育て応援の先進的な「加須モデル」の取り組みに注目が集まっています。

石川県内災害ボランティアセンターへ職員を派遣



ボランティアのマッチングを行っている様子

被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、能登地方を中心に甚大な被害が発生しました。更に9月21日には被災地に追い打ちをかけるような豪雨が襲い、土砂崩れや河川の氾濫が起きるなど、再び甚大な被害に見舞われました。地震発生から1年が経った今も、復旧・復興作業が続いている状況です。

令和6年2月以降、災害ボランティアセンターの運営支援のため県内市町村社協および県社協職員を派遣し、被災された皆さまの一日も早い生活再建に向けた支援活動を行いました。

県社協としては、今後も状況に応じて支援していくとともに、今回の職員派遣で得たノウハウや課題を活かし、県内の災害支援体制づくりに取り組んでまいります。

派遣内容 令和6年11月末時点

派遣先	輪島市、かほく市、内灘町、志賀町、穴水町
派遣人数	64人〈内訳：市町村社協54人、県社協10人〉
活動内容	ニーズ把握、現地調査、ボランティアの受付・マッチングなど

企画総務課 TEL : 048-822-1191



推進協10周年記念式典を開催しました



開会あいさつをする池田徳幸会長

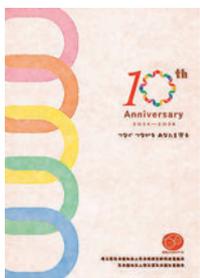
県内の社会福祉法人の協働により社会貢献活動を実施している、埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（以下「推進協」）は、11月22日に彩の国すこやかプラザにおいて、10周年記念式典を開催しました。

推進協では、平成26年6月の設立以降、300を超える会員施設、市町村社協が参画し、生活に困窮する方への相談支援「彩の国あんしんセーフティネット事業」をはじめ、「就労支援」やこどもの衣類を必要な世帯に無償で提供する「衣類バンク事業」などを実施してきました。相談支援では10年間で4,000件を超える相談に応じ、約2,900件に対して累計8,400万円にのぼる現物給付（経済的支援）を行うなど、地域におけるセーフティネットの役割を果たしてきました。

式典では、事業に貢献した社会福祉施設を表彰しました。また、来賓の大野知事からは「10年にわたり既存の福祉制度では対応できなかった部分を補う役割を丁寧に果たしてこられたことに敬意を表する」と祝辞をいただきました。

後半のシンポジウムでは、各施設、市町村社協から取組報告をいただき、10年の歩みを振り返るとともに、社会福祉法人が果たすべき役割や、推進協の今後のあり方について考えました。

今後とも、推進協では、地域の福祉課題の解決に向けて、“オール社会福祉法人”で社会貢献活動に取り組んでまいります。



10周年記念誌は推進協HPからダウンロードできます

生活支援課 TEL : 048-822-1249

無料カタログお送りします

介護のことなら何でもお気軽にご相談ください!

福祉用具のレンタル・販売 / 住宅改修

Silver
HOXON シルバーホクソン

通話無料 ロゴ ヨロシク
0120-65-4649 川口市中青木 2-22-34

福祉の街・アールスタッフ ネットワーク

福祉の街 本社

アールスタッフ 本社

株式会社 福祉の街 048-645-2943
さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル4F
https://www.youism.jp

掲載広告募集中！お問い合わせは地域連携課まで

TEL : 048-822-1248

令和7年も共同募金運動をよろしくお願ひします



明けましておめでとうございます。

埼玉県共同募金会は、今年も県内の地域福祉活動を積極的に支援してまいります。

1月から3月は、特定のテーマを掲げて募金への協力を呼び掛けます。今月号では、本県の2つのテーマ型募金についてご紹介いたします。

◆赤い羽根つながりをたやさない社会づくり

これまで共同募金会では、コロナ禍で失業や収入が減るなど、日常生活に支障をきたした人々に対する活動に対し、令和2年度から13回の助成を行い、延べ295団体へ約1億996万円を助成してきました。

コロナ禍以降、対面による人とのつながりが少なくなり、孤立を深める世帯があります。「つながりをたやさない社会づくり」を合言葉に、引き続き地域のつながりづくりのサロン活動やこどもの居場所づくりなどを応援します。



こども食堂や居場所づくりの活動に



◆赤い羽根進学費用応援プロジェクト

このプロジェクトは、「県内の児童養護施設の子どもたちの高校卒業後の進学を応援したい」という思いのご寄付を受け、平成29年度から開始し、これまでに108人の進学を支援してきました。

今年度は、12月までの募集で17人の高校生の進学費用として総額910万円の助成要望があり、第一次助成として637万円を決定しました。今年4月からの進学のために3月にも助成を予定しています。子どもたちの未来へつながるご支援をよろしくお願ひします。



ご寄付は、各テーマの二次元コードからクレジットカードなどの方法で受け付けています。今年度から、PayPayによる寄付も可能となりました。皆さまのご協力をよろしくお願ひします。



社会福祉法人埼玉県共同募金会 年間を通して助成要望を受け付けています。

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内
TEL 048-822-4045 FAX 048-824-9819 赤い羽根さいたま [検索](#)

ネット募金
受け付け中!



令和6年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
補償(A型)	定員 1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	+
		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11446 より抜粋)

